Deep NINJA公開用データファイル作成について

【作業内容】

1．中島さんデコードファイルと小林さんデータファイルの比較

（1）比較内容：海氷回避機能の起動状況

（2）中島さんデコードファイルおよび小林さんデータファイルの保存先

サーバ：float\_cl

①中島さんデコードファイル保存先

/home/argo/nemo\_txt/[wmo\_no]\_[float\_sn]/[wmo\_no]\_[float\_sn]\_[cycle\_no].txt

②小林さんデータファイル保存先

/hone/argo/deep\_ninja/tk/DN\_[float\_sn]\_all/DN\_[float\_sn]\_[cycle\_no].txt

（3）中島さんデコードファイルおよび小林さんデータファイルの対応

|  |  |
| --- | --- |
| 中島さんデコードファイル  保存ディレクトリ名 | 小林さんデータファイル  保存ディレクトリ名 |
| 2902409\_001 | DN\_01\_all |
| 2902408\_002 | DN\_02\_all |
| 7900601\_003 | DN\_03\_all |
| 5904937\_004 | DN\_04\_all |
| 7900599\_005 | DN\_05\_all |
| 7900600\_006 | DN\_06\_all |
| 2902510\_007 | DN\_07\_all |
| 7900656\_008 | DN\_08\_all |
| 7900657\_009 | DN\_09\_all |
| 7900652\_011 | DN\_11\_all |
| 7900653\_012 | DN\_12\_all |
| 7900655\_013 | DN\_13\_all |
| 7900654\_014 | DN\_14\_all |

（4）具体的な比較箇所

下記①および②において，(a)と(b)のセットになっていれば，OK．異なるものがあった場合にはファイル名をリストアップ．

①海氷回避機能が働いている状態

(a) 中島さんデコードファイル：下記のようにKaihyo Flagが1となる．

=== Flag data ===

Date Data name FlagValue Pressure

2013-06-14 18:04:23 Kaihyo Flag 1 47.3

(b) 小林さんデータファイル：1行目ヘッダーの左から8項目目が1となる．

5 7900599 13 20130614 -99.999 -999.999 G 1 392 3

②海氷回避機能が働いていない状態

(a) 中島さんデコードファイル：上記①(a)の記載なし．

(b) 小林さんデータファイル：1行目ヘッダーの左から8項目目が0となる．

5 7900599 14 20130714 -62.712 146.236 G 0 401 3

2．海氷回避機能が働かず，かつ，GPSが取得できない場合に限り，中島さんデコードファイルの位置情報を小林さんデータファイルの位置情報に差し替える．

作業手順は下記の通り．

（1）小林さんデータファイルにおいて，下記の条件を全て満たすファイルを検出．

①1行目ヘッダーの左から8項目目が0

②1行目ヘッダーの左から5項目目（緯度）が-99.999

③1行目ヘッダーの左から6項目目（経度）が-999.999

（2）小林さんデータファイルに該当する中島さんデコードファイルから下記の行を探す．

IRIDIUM(mean CEPradius) = 2013-05-15 20:53:51 lat : -63.19649 lon : 142.70011 CEPradius : 3

（3）小林さんデータファイルのヘッダーの5項目目と6項目目を入れ替える．

IRIDIUM(mean CEPradius) = 2013-05-15 20:53:51 lat : -63.19649 lon : 142.70011 CEPradius : 3

小林さんデータファイルの1行目ヘッダーの5項目目に入れ替える．フォーマットは[-]yy.yyy

小林さんデータファイルの1行目ヘッダーの6項目目に入れ替える．フォーマットは[-]xxx.xxx

（4）小林さんデータファイル残りの部分はそのまま出力．

　　出力場所：/hone/argo/deep\_ninja/output/@floatcl

＊小林さんデータファイルのフォーマットは「DeepNINJAデータ公開フォーマット案\_3.docx」を参照のこと．